

- ◇平成25年度主な事業と施策を紹介 2面
- ◇西宮市まちづくり賞を3個人2団体へ 3面
- ◇固定資産税等の各種制度紹介 4面
- ◇スポーツセンター特集 5面
- ◇西宮ジャズ3daysを開催 7面
- ◇さくら祭のイベント参加者募集 8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798-35-3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/政策局市長室広報課 ☎0798-35-3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



河野市長は、3月定例市議会初日に、平成25年度の市政運営の基本的な考え方と主要な事業や予算案などをまとめた行政方針を表明しました。

平成25年度は、本市の礎となってきた「文教住宅都市宣言」から50年、「平和非核都市宣言」から30年、「環境学習都市宣言」から10年という大きな節目の年になります。これら3つの宣言の意義を市民の皆さんと共有し、一人ひとりが感動できる躍動的な文教住宅都市として一層活気あふれるまちづくりを進めます。

本市のこれまでのまちづくりの歩みを振り返り、3つの宣言の意義をさらに発展させるために、9月に県立芸術文化センターで音楽コンサートやまちづくりをテーマとする対話を組み入れた記念事業を実施するとともに、各分野で周年事業を行います。

また、将来を見据えて、市民や学識経験者などの意見を聴き、将来の望ましいまちの姿について考えるとともに、新たに(仮称)総合防災センターの整備に向けた基本構想や都市景観の向上を図るための市道の無電柱化計画の策定、海辺の環境保全やレジャー空間を創出する西宮浜総合公園および御前浜公園の整備方針の策定などに取り組みます。



行政方針を表明する河野市長

さらに、都市核の一つであるJR西宮駅北側周辺の市有地の有効活用や同駅南側の卸売市場の整備手法、市民館など地域集会所施設や公民館の効率的な活用や適正配置などについて検討します。

アサヒビル西宮上場跡地のまち

●教育委員会 行政方針●

夢はぐくむ教育のまち

井ノ元教育委員長は、「夢はぐくむ教育のまち西宮」を掲げた教育委員会行政方針を表明しました。要旨は次のとおりです。

教育の推進にあたっては、平和・人権・国際・環境教育を要として、学習者一人ひと



井ノ元教育委員長

りが学びに対する関心・意欲を高め、志を持ち、自らの可能性を開花させる創造的な営みが盛



平成25年度行政方針 河野市長が表明

将来見据え踏み出す年

づくりは、本市の最重要課題の一つであり、中央病院や中央体育館をはじめとする公共施設の移転計画の策定や必要な土地取得に取り組めます。

このほかの主な施策として、保育所待機児童については、25年4月での解消を図りますが、さらに民間保育所の新設や民間保育所分園の整備などを進めます。

学校園は、増改築を行う2校を除き、25年度末に全て耐震化を完了させるほか、小・中学校への空調設備の整備を進めます。また、高木小学校は、児童数が増加し、安全で円滑な学校運営が困難な状況が続いていることから、同校区内に新たな小学校を整備するため、用地の取得に取り組みなど教育環境の整備を進めます。

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域密着型施設の整備などを進めるほか、健康づくりに効果がある「西宮いきいき体操」を全市で実施できるように手法の検討を行います。

障害のある人の福祉については、虐待防止センターの機能を併せもつ基幹相談支援センターを設置し、自立と社会参加を促進するための適切なサービスの提供に努めます。

また、いじめ・体罰はあってはならないことを社会全体で再認識するとともに、学校がいじめを見逃さない、いじめを許さないという強い姿勢を伝え、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育む心の教育の充実を努めます。その

ためにも、保護者や地域住民と協働し、教育連携協議会を核とした「新しい公共」型学校づくりを進めます。

平成25年度

予算案まとまる

市は、平成25年度の予算案をまとめた。左表・左下グラフ参照。現在開会中の3月定例市議会にて審議されています。

予算総額は2839億4950万円になり、前年度予算に比べ、4億5606万円(0.2%)の減額となりました。内訳は、一般会計1609億4101万円、特別会計810億5928万円、企業会計419億4921万円です。

また、一般・特別会計を合わせた25年度末における、基金残高(市の貯蓄)の見込みは197億9436万円、市債残高(市の借金)の見込みは1657億1925万円になっています。

一般会計では、歳出において、衛生費が東部総合処理センター整備事業の終了により

減額となる一方で、教育費が新設小学校の用地購入費などにより増額となり、民生費においても、障害者福祉サービス費や生活保護費の増などにより増額となったため、総額で前年度予算に比べ、12億1985万円(0.8%)の増額となりました。

また、歳入では、市税が増額となる一方で、地方交付税は減額が見込まれるため、市有地の売却などにより財源確保に努め、なお不足する財源は財政・減価両基金を取り崩して収支の均衡を図りました。

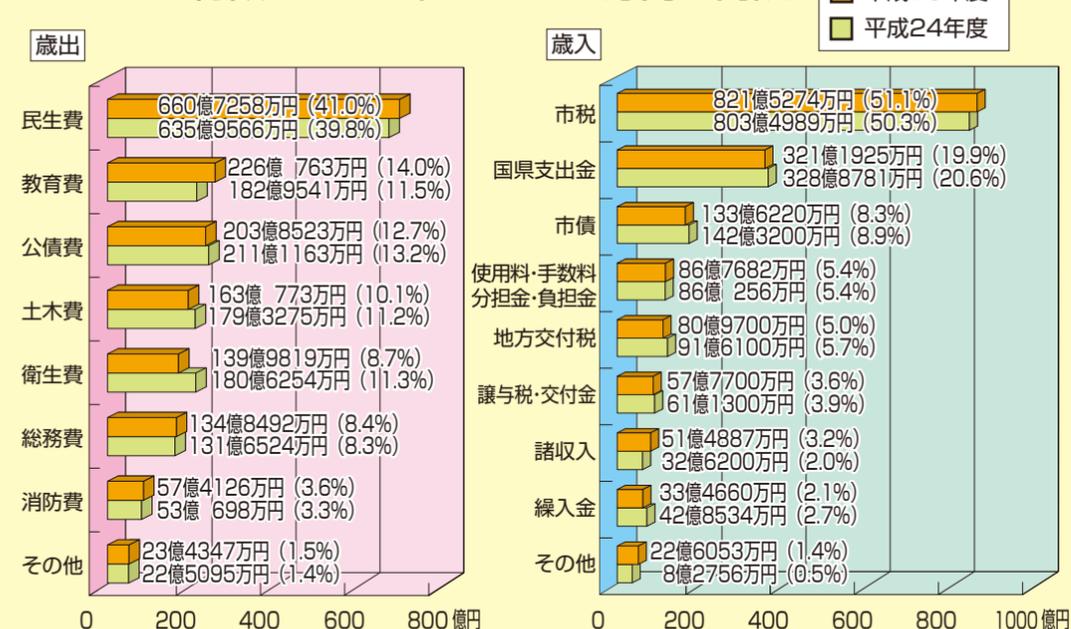
問合せは財政課(0798-35-3414)へ。

平成25年度予算案の内訳

区分	予算額	前年度比
一般会計	1609億 4101万円	0.8%増
特別会計	810億 5928万円	2.1%増
企業会計	419億 4921万円	7.4%減
合計	2839億 4950万円	0.2%減

※一般会計のうち借換債を除く実質的な予算額は1597億1071万円(前年度比0.4%増)

一般会計 総額1609億4101万円の内訳



東日本大震災から2年

被災地を引き続き支援

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から2年を迎えます。市民の皆さまには当日午後2時46分から1分間の黙とうをお願いします。西宮市では、兵庫県阪神支援チームを結

成し、現在も宮城県女川町・南三陸町へ職員を中長期にわたり派遣するなどの支援を行っています。被災地の一日も早い復興のため、引き続き支援していきます。